

令和6年度第2 恵那市防災会議議事録

I 日時

令和7年3月5日（水曜日）午後1時30分から午後2時27分

II 場所

恵那市役所西庁舎3階 災害対策室A B（ウェブ会議併用）

III 出席者

別紙のとおり

IV 傍聴者

1名

V 次第

1. 会長あいさつ

皆さんには、3月の忙しい中、第2回の防災会議に出席いただき、ありがとうございます。例年ですと、3月議会が終わってからの年度末のぎりぎりの時期に開催していますが、少し前倒し、色々な意見をいただきながら、今後は開催時期も考えていきたい。ただ令和7年度の取り組みは、議会の議決を得る前になります。事業内容をかいつまんで説明させていただく。改めて本年を振り返ると、昨年1月に能登半島では地震が起き、秋には豪雨災害があった。また今年の冬は日本海側ではひどい雪になっている。昨年の夏では、非常な猛暑となり暑かった。また最近では、東北で山火事が消えないなど、色んなことが日本中で起きている。このようなことを勘案して、恵那市としてどういったものに取り組んでいくのか、取捨選択しながら取り組んできた。その点については、令和7年度の予算の中で触れていく。その内容を少し触れると、昨年から取り組んでいる、小学校の体育館へのエアコンの設置です。これはLPガスを使用しており、停電時でも使用することが可能です。令和7年度には中学校でも取り組んでいく。もう1つは、耐震化です。能登半島地震をみると耐震化の手当てをしていくことの重要度が高い。そのあたりのメニューの追加をしていく。本日の議題では、地域防災計画の修正、国土強靱化地域計画の修正とありますが、そのほかお気づきの点がありましたらそれぞれの立場で「こうしたほうがいいのではないか」というようなことがありましたら積極的にご発言いただけたらと考えます。

2. 委嘱状交付

- ・机上配布

3. 委員紹介

- ・名簿配布により実施

4. 議題

報告第2号 令和6年度防災対策主要事業の見込みについて

- ・事務局より別紙のとおり説明

委員からの発言

- ・岐阜県獣医師会開業部会東濃支部恵那分会 前田敬生 様

1月12日に防災講演が恵那市防災センターで開催した。そのもととなる部分です。自分のペットを守るには、まず飼い主さん、自分の命を守ることが第一だと話しました。これは、昨年12月に中津川市で防災講習会が開催され、その中で防災士ユウチューバーの方から話を聞きました。その中で南海トラフ地震のことがありました。恵那市地域防災計画には、南海トラフ地震は震度6弱であり、耐震化がない家では家が傾き、倒壊することもある。先ほど、市長から話がありましたが、恵那市の耐震化率はどれくらいか、と疑問に思ったがやはり耐震化することが大切だと感じました。これが1つ。もう1つ防災士が言われるのは、震度6弱でも油断をするとライフラインが絶たれ、物資支援遅れる。南海トラフ地震は静岡県から宮崎県まで海岸線沿いで多く発生し、そちらの方に多くの物資が行く。被害の程度が低い地区は物資支援が遅れる。そうすると最低限、必要な物資を備えなければならない。地震が少ない地域では、災害に対する自主防災の意識が低い。そこも含め、恵那市は様々なものを活用している。さらなる各地域の皆さんの防災意識を高める中で、最低限必要な物資を伝えてもらえればと思います。来年度の総合防災訓練に、ペットの同行避難も開催してもらいペットを飼っていない市民にもペット防災を認知してもらいたいと考えます。

・恵那市女性防火クラブ 小木曾ひとみ 様

防災キャンプの実施について、先ほど説明があった。今年度、参加させていただいた。女性防火クラブもこのようなことを行っていきたいが、クラブの人数も少ないので、自分たちだけでは準備はできるがこういった形で危機管理課から話があり、一緒に実施できた。クラブ員の参加者は大変だったけど、言葉は悪いが楽しくできたと、実際に災害があった場合、楽しいではすまないが、とっかかりの関心を持ってもらえたことが重要視される。こういった経験をして、二人の方が地域を代表して出てきているが、残って活動していただけることとなった。これがきっかけでクラブ員が増えていくと良い。ありがとうございます。

報告第3号 令和7年度防災対策主要事業の概要（案）について

・事務局より別紙のとおり説明

・恵那市防災研究会 岩井慶次 様

恵那市は大変、防災に対し頑張ってもらっているのでうれしい限りです。その上でお願いしたことがある。災害復興支援計画を作成されませんか。岐阜県内でもこの計画を作成している市町村はありません。先駆けとして恵那市が取り組んでいくことに意義があります。調査研究からお願いしたいです。

・事務局

恵那市としても、災害復興支援計画が必要になってくると思うので、委員にもご協力いただきながら推進していきたい。よろしく申し上げます。

・恵那県事務所長 清水浩二 様

感想です。中学校の屋内運動場への空調機の取り付けについて、私は、昨年まで教育委員会に在籍していましたが、県内でも小学校、中学校の屋内運動場に空調設備を備えるのは非常に意欲的であり、安心できる取り組みであり、普段でも暑い夏に、使用すれば児童生徒も快適です。万が一、避難所として使用する場合

も、私は東日本の震災の際は、避難所の支援に行きました。やはり避難所は寒いとか、暑いと避難所は人が過ごすには辛い。こういった設備があると安心感につながりますし、非常に良い取り組みと感じました。

議第2号 恵那市地域防災計画の一部修正について

・事務局より資料のとおり説明

・恵那市防災研究会 岩井慶次 様

災害ボランティアセンターの設置場所がある。これは社会福祉協議会と協議して設置することとなる。特に旧恵那市と恵南地域とに設置できればと思います。その中で、ボランティアを受け入れる施設、受援施設ですがこれまで恵那市は設置していませんので、ボランティアを受け入れる施設を検討して欲しい。これができれば、能登半島のような渋滞が起きない。速やかに受け入れの場所の設置をお願いしたい。

ケースマネジメントですが、最終的に個人のロードマップ作りが大変大切になる。例えば、住宅が半壊した場合こういう支援が受けられることが明確に分かっていればその方も望みが沸くと思います。能登半島地震の時も、最初はなかったので絶望感の中で避難生活を送らなければならない。建物も厳しい状況だった。そういったところも事前にマネジメントができてるととてもありがたい。前例もありますので、また聞いていただければ情報を提供できます。

・事務局

ボランティアを受け入れる受援施設の設置については、恵那市地域防災計画を確認しましたが記載はありません。岐阜県、自衛隊、警察が応援に来ていただいた場合の指定施設はありますが、ボランティアには受援施設がありません。民間施設の指定や協定締結などで対応したいと考えております。

個人ロードマップについても、作成していません。被災者は、目の前で自宅が倒壊すると何から手を付けたらいいのか分かりません。こちらにつきましては、関係課は社会福祉課になるかと思います。関係課と協力して個人ロードマップの

作成に向け、資料をいただきながら進めていきたい。

- ・ 恵那土木事務所 石井伸吾 様

土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域の追加指定につきましては、漏れや誤りがあると大変なことです。恵那土木事務所とよく連携を図って確認をお願いします。

- ・ 事務局

こちらにつきましては、大変重要な資料と認識しています。誤りがないように連携を図ってまいりますので、ご協力をお願いします。

- ・ 質疑を終結し、採決の結果、全会一致で承認

議第3号 恵那市国土強靱化地域計画の一部修正について

- ・ 事務局より資料のとおり説明

- ・ 質疑は無く、採決の結果、全会一致で承認

5. その他

- ・ 事務局より恵那市国土強靱化地域計画の見直しについて報告
- ・ 事務局より恵那市総合防災訓練について

日時：令和7年8月31日（日曜日） 午前8時開始

想定：大雨による土砂災害被害に伴う訓練

以上について、報告

・岐阜県獣医師会 前田敬生 様

災害における断水とか、停電など長期に渡る場合は、どのように考えているのか。

・事務局

断水につきましては、先ほど、国土強靱化地域計画の変更で説明しましたが、重要施設管路耐震化、急所施設耐震化で説明しましたが、管路等の耐震化を進め断水等が起きないように事務を進めています。また小学校等には受水槽が設置されています。そこから直接飲料水を出すことができる応急給水栓を本年度、長島、笠置、岩村、山岡、上矢作の各小学校に導入し、非常時の飲料水の確保に努めました。また、東野小学校等のプールに水を浄化する装置を取り付けている。これにより、プールの水を浄化し、飲料水として利用できる。停電に対する備えですが、市長からのあいさつにもありましたが、市内の小学校の屋内運動場には、LPガスを利用した空調機器を設置している。停電時でも利用できるものであるため、停電時はこれらを活用する。このほか発電機を備蓄資機材として整備している。また地域が必要な資機材を整備する場合、事業費の半分を補助している。これを活用して明智町では、積極的に発電機の整備をしている。このあたりで対応をお願いしている。

上記議事録は、事実と相違ないことを証するため署名する。

令和 7年 3月 5日

署名委員

小林 規 男

署名委員

坪 井 弥栄子